

# こんにちは! 北海道スポーツ少年団リーダー会です!

前号ではリーダー会の主な活動を紹介しましたが、今回は私達が各市町村に向いて活動してきた事を報告します。日本スポーツ少年団や北海道スポーツ少年団の主催事業の他にも以下の運営補助なども行っているんですよ。

## ジュニア・リーダー スクールの運営補助

リーダーとして参加しますが、大会運営はもちろん、参加者と共に活動し研修会を盛り上げます。



## 各市町村のリーダー研修会の 運営補助

市町村スポーツ少年団が主催する事業にリーダーとして参加しています。昨年は稚内市や伊達市のスポーツ少年団本部が主催する研修会に参加し、ディスカッションやレクレーションなどを進めました。



道内研修会はもとより、リーダーの研究大会などに参加していますので、リーダーとしての経験や知識が豊富です。全道各地に出向きお手伝いしますので遠慮なく声をかけてください。

## リーダー会会員も随時募集しております。

これからも各地で行われるスポーツ少年団活動を盛り上げるために努力していきます。

### リーダー会のホームページ

<http://www.hokkaido-leaders-club.com/>

### リーダー会への運営補助などの依頼、 入会の問い合わせ先

〒062-8572 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1  
TEL 011-820-1706  
(財)北海道体育協会スポーツ振興グループ



# 北海道スポーツ少年団広報 Quality of Life

Hokkaido Junior Sports Clubs Association

### 発行者

北海道スポーツ少年団本部長 霜崎 寛  
(Hokkaido Junior Sports Clubs Association)  
〒062-8572 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1  
北海道立総合体育センター内  
TEL 011-820-1706 / FAX 011-833-0705  
E-mail hokkaido@japan-sports.or.jp

## 発刊に当たって

今年度も北海道スポーツ少年団広報誌「Quality of Life」を発行し、多くの市町村や団員にお届けできることを大変嬉しく思います。

少子化による児童生徒数の減少等により北海道の団員数は減少いたしました。道内最大の青少年団体として50,568名の団員が様々な活動に励んでおります。

今回は、全国大会で活躍した団員達の感想や、昨年度に引き続き北海道出身のオリンピック選手のインタビュー、各事業報告や紹介

などたくさんの記事を掲載いたしました。この広報誌がスポーツ少年団の普及と各種活動の啓蒙・啓発として、団員や指導者の確保、組織の拡充と登録の促進が図られるよう期待をしております。

最後にこの広報誌を通して市町村の教育・文化・医療・福祉施設等あらゆる施設で多くの道民にスポーツ少年団を身近に感じていただき、地域の中で必要とされる組織となるよう、関係各位の一層のご協力をお願い申し上げます、発刊にあたってのご挨拶といたします。

## オリンピック金メダリストにインタビュー

上野 雅恵さん【アテネ五輪(2004年)・北京五輪(2008年)女子柔道70kg級金メダル】

1979年生まれ(29歳)。旭川市出身。5歳から両親が指導するスポーツ少年団で柔道に打ち込む。旭川南高校から実業団チームの三井住友海上火災保険に入社。国内大会をはじめ、世界選手権やアジア選手権など多くの国際大会で優勝。2000年のシドニー五輪出場、2004年のアテネ五輪と2008年北京五輪で2大会連続の金メダルに輝き、道民に夢と感動を与えてくれた。



(写真提供:アフロスポーツ)

## 事務局 便り

## 平成20年度 北海道スポーツ少年団登録概要

平成20年度の登録数が下記のとおり確定しました。登録市町村数が1村、団数も2単位団とそれぞれ増加となりましたが、指導者や団員数は5年連続で減少しました。



平成20年11月1日現在

| 年度   | 市町村数  | 団数     | 団員数     | 指導者数    |       |
|------|-------|--------|---------|---------|-------|
|      |       |        |         | 単位団     | 役職員   |
| 20年度 | 174   | 2,299  | 50,568  | 9,389   | 822   |
| 19年度 | 173   | 2,297  | 51,680  | 9,445   | 827   |
| 対前年度 | 1     | 2      | △1,112  | △56     | △6    |
| 全 国  | 1,613 | 36,291 | 899,618 | 201,953 | 6,938 |



十勝管内:清水御影アイスホッケースポーツ少年団

### 事務局員

#### スポーツ振興グループ(生涯スポーツ担当)

課長 山口 淳一(生涯スポーツ総括)  
主事 石亀 堅祐(少年団・指導者養成全般)  
主事 鈴木佐津紀(少年団事業全般)  
主事 田村 佐知(指導者養成事業)  
主事 高嶋 涉(少年団指導者養成事業)  
総務 山田 直子(少年団庶務全般)

#### スポーツ振興グループ(競技スポーツ担当)

課長 米良 優二(競技スポーツ総括)  
主事 小杉 英俊(体力測定担当)  
主事 千葉 智史(団体担当)  
主事 坪田 佳祐(団体強化事業)  
嘱託 遠藤 優(団体強化事業)



何処を見てもあまり明るい話題は多くありませんが、スポーツ少年団員が真剣に活動している姿を見ると、何故か気持ちがフワリとそして暖かくなります。4月雪解けとともにグラウンドや体育館などは、笑顔と元気な大きな声を響かせ活動する子どもがいます。私たちはその活動をこれからも支援していかなければなりません。これからも北海道スポーツ少年団の活動をご理解とご協力をお願いします。

さて、北海道スポーツ少年団の登録は、ここ数年前年比3%程度ずつ減少しています。このまま登録が減少し続けると、事業の見直しをしなければならない時期に迫っています。これから、常任委員会、委員総会、各専門部会において検討していただき、その結果は速やかに皆さんに報告させさせていただきます。

長い冬が終わるつとに、今年の冬は暖冬でした。二月の各地の平均気温は観測史上最も高い気温だったそうです。室蘭地区での日当たりの良い斜面では、二月中旬に福寿草が既に咲いていたそうです。これも地球温暖化の影響でしょうか。身近な自然にまで、その影響が出ているのかと危機感を覚えます。

## 編集後記

### Q1. スポーツ少年団入団のきっかけは?

両親が柔道を指導していたので、柔道が自然と自分の生活の中に入り込んでいました。5歳頃から自然と柔道を始めて、両親が指導するスポーツ少年団へ入団しました。

### Q2. スポーツ少年団での思い出は?

練習が厳しかったことを覚えています。練習は厳しかったけど、同じ少年団の友だちと柔道以外の活動をしたことが楽しかったです。



男の子にも負けたくない、年少の頃の上野選手

### Q3. スポーツ少年団に入って良かったことは?

柔道を熱心に指導していただいたことと、色々なところへ試合に行けたことです。それから柔道で、たくさんの友だちができました。

### Q4. オリンピックでの1番の宝物

怪我など色々なことがあって、大変なことがたくさんありましたが、オリンピックまでの道のりは、私にとってどれも大切なものばかりでした。金メダルは、大変だったことを克服して頑張れたこと、そのご褒美のような気がします。

### Q5. 道内のスポーツ少年団員の皆さんへ

自分の目標に向かって、一所懸命に練習をしてください。日々の努力が、必ず結果に表れます。それから、仲間を大切に、自分たちを支えている指導者や家族に感謝することを忘れないでください。

### Q6. スポーツ少年団指導者の皆さんへ

今の自分があるのは、スポーツ少年団でいつも一緒にいた仲間たち、いつも側で応援してしてくれた父母の皆さん、そしていつも熱心に指導していただいた指導者の皆さんの力のおかげです。指導者の皆さんには子ども達と一緒に汗を流し、コミュニケーションをもって「熱い指導」をお願いします。



(写真提供:アフロスポーツ)



# 全国大会に出場して

競技大会・少年大会  
結果報告



## 第32回 全日本少年サッカー大会

### 伊達サッカースポーツ少年団

●強豪チームの状況判断の速さ、パス回しの正確さなどがすばらしくて、身を持って全国大会のレベルの高さが分かりました。 — 中瀬 歩夢 —

●強いチームを見習って、もっとたくさん練習を積んで高い技術を身につけて、もう一度全国大会に出場したいです。 — 引間 雄大 —



## 第30回 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会

### 北真パイレーツスポーツ少年団

●野球教室でホームランを打つことができ、全国の選手と友達にもなれた。中学でも高校でも野球を続け全国大会に出てリベンジしたい。野球大好き！野球最高！ — 向井 敬祐 —

●一勝できなかったけど、勝つことよりこの大会に参加できたこと、そして野球をやっていたおかげで、素晴らしい経験ができたことが僕にとって一生の思い出になりました。 — 杉澤 晃士 —



## 第30回 全国スポーツ少年団ホッケー交流大会

### 島松ホッケースポーツ少年団



●今年で最後なので負けたときは悔しかったけど、全部出し切ったので悔いはないです。今までホッケーをやって良かったと思います。 — 菅原 正大 —

●8得点するという目標は達成できなかったけど、その試合勝って嬉しかったです。大会で学んだことをこれから生かせるようがんばりたいです。 — 猪村 望貴 —

## 第46回 全国スポーツ少年大会 団員8名 指導者1名

●一番楽しみにしていた立山散策ですが、道がガタガタだし日差しが暑くて本当にしんどかったけど、登ると景色が良くて、がんばったかいがあったなと思いました。 — 新 ひとみ —



●「SHIPS活動」の中で、縄跳びは全然ダメだったけど、フリスビーは的に上手く当てることができました。リレーではチームみんなの頑張りで2位を獲得できたし、とっても楽しかったです。 — 新居 遼太 —

## 第35回 日独スポーツ少年団 同時交流

派遣

たくさんのことを学んだ…意思表示の大切さ、曖昧な答えは求めていない。自分の考えをはっきり述べる!! これから社会に出た時絶対必要になること。避けて通れない道、大切な思い出、一生の友達ができたのだと思う。本当にありがとう… Germany is プリーマー! また合える日まで… (亀谷 実希)

高校3年生の夏休みというとても重要な時間を使うこと、言葉の違い、ホームステイということに最初はかなり不安がありました。しかし、今では行ってよかったという気持ちもう一度行きたいという気持ちでいっぱいです。(吉田 美紀)

ホームステイの人たちは温かく迎えてくれてとても過ごしやすく、ほんとうに家族の一員になれたような気がしました。ほんとうに受け入れてくれた団体、ホームステイの人たちにとっても感謝しています。そして私もいつか受け入れをしたいと思ったり、受け入れをしてくれた方に日本に来てもらいたいと思っています。(高橋 実世)



受入



受入が30回目となる今年は、歴史と伝統が息づき、海と山に囲まれた道南の日高町と伊達市を中心に行なわれました。イルカ見学やクルージングなど、ドイツではなかなか経験できない海での活動や、アイヌ民族伝承や時代村の見学、座禅・藍染体験といった日本文化に触れる活動など、その土地ならではのプログラムをこなし、北海道の自然に触れ、たくさんの思い出を作ることができたようです。

ホストファミリーをしようとするきっかけは、もともと私が交流したいという気持ちも強かったが、子ども達に「外人」ではなく「人は皆同じだ」と言うことを伝えたかったのです。子ども達も「外の人」だと思っていたのが、最終日にもなるとすっかり緊張も解け友達になっていました。スポーツを通して素晴らしい体験ができたことに感謝しております。最後に、私をもっと若かったらホームステイに行きたかったです。(神山家)

言葉の壁を越えた交流をすることでお互いを理解し、そこから多くものを学び取ることができるということを、それぞれの感想文からも見てとれるでしょう。もっともっとたくさんの人たちにこの感動を味わってほしいです(=^▽^=)

## 第38回 北海道スポーツ少年大会

今年度は8月3日～5日  
まで、上川管内の美瑛町において開催されました。  
初日から大雨に見舞われましたが、みんなの  
元気な笑顔でつられたのが、  
2日目には太陽が顔をだし、  
すばらしい大会になりました。

### 思い出のページ



開会式。ちょっと緊張きみ…



夕食の頃にはもうあっつい仲良し♪



みんなで力を合わせて登頂成功!  
ちょ～キモチいい～!



キャンプファイヤーではイカ踊りを  
アンコールして踊ったね★



トシッキング。ああってるの～?!



楽器を作りました。音出るかなあ♪



自由時間…  
たくさん友達ができだね



思い出を言葉に…



バトンタッチ

3日間どうも  
ありがとう!  
みんな  
忘れないでね  
また会おう!!

## 第39回 北海道スポーツ少年大会の開催

21年度の大会は、サロマ湖の夕日が見える北見市常呂町を会場に開催します。道内各地から集まる団員達と交流を深め、たくさんの友達と思い出を作りましょう! みなさんの参加をお待ちしています(\*^▽^\*)。

いつ 平成21年8月1日(土)～3日(月)2泊3日  
どこで 常呂少年自然の家  
なにを ●自然に親しむ…いかだ・カヌー体験  
●創作活動…貝細工・ランプ作り  
●サロマ湖の夕日見学 など



この大会は…  
今後、少年団活動を担う中核リーダーを集め、団活動だけでなく大勢の仲間達との活動や集団生活を通して、リーダーになるための学習をするために開催しています。